

保険診療 料金表

患者様負担(3割)

人工授精	5,460円	*精子・精液の量的・質的異常 *射精障害・性交障害 *精子-頸管粘液不適合 *機能性不妊 上記のいずれかに該当する場合に施行します。 洗浄濃縮という精液の前処置を行い、その後に子宮内に注入します。 施行前には同意書の提出が必要です。注射剤や内服薬などの薬代は別途かかります。
採卵術		
1個	16,800円	*卵管性不妊 *男性不妊(閉塞性無精子症等) *機能性不妊 *人工授精等の一般不妊治療が無効であった場合 上記のいずれかに該当する場合に施行します。 麻酔下の採卵術は、麻酔管理費が別途かかります。
2~5個	20,400円	
6~9個	26,100円	
10個以上	31,200円	
体外受精・顕微授精管理料		
体外受精	12,600円	*卵管性不妊 *男性不妊(閉塞性無精子症等) *機能性不妊 *人工授精等の一般不妊治療が無効であった場合 上記のいずれかに該当する場合に施行します。 体外受精とは通常の受精方法、顕微授精とは卵子に精子を注入する方法です。
顕微授精(ICS)		
1個	14,400円	
2~5個	20,400円	
6~9個	30,000円	
10個以上	38,400円	
卵子調整加算	3,000円	顕微授精における受精障害の既往等の医師が必要と認めた場合に、卵子活性化処理を実施した場合。
受精卵・胚培養管理料		
1個	13,500円	体外受精または顕微授精により作成された受精卵を、胚移植術のために必要な初期胚または胚盤胞を作成するために 培養を行った場合、その数に応じて算定します。
2~5個	18,000円	
6~9個	25,200円	
10個以上	31,500円	
胚盤胞作成管理料		
1個	4,500円	作成された初期胚のうち、胚盤胞の作成のために培養を行った場合、その数に応じて算定します。
2~5個	6,000円	
6~9個	7,500円	
10個以上	9,000円	
胚凍結保存管理料		
胚凍結保存管理料(導入)		
1個	15,000円	凍結保存を開始した場合、凍結する初期胚または胚盤胞の数に応じて算定します。
2~5個	21,000円	
6~9個	30,600円	
10個以上	39,000円	
胚凍結保存維持管理料	10,500円	凍結保存の開始から1年を経過している場合、凍結保存に係る維持管理を行った場合に、凍結保存の開始から起算して 3年を限度として、1年に1回に限り算定します。更新手続きのために来院が必要です。
胚移植		
新鮮胚移植	22,500円	治療開始の年齢が40歳未満の場合は患者1人につき6回に限り、40~43歳未満の場合は患者1人につき3回に限り 算定します。
凍結融解胚移植	36,000円	
アシステッドハッチング	3,000円	過去の胚移植において妊娠不成立等の医師が必要と認めた場合に、妊娠率を向上させることを目的に実施します。
高濃度ヒアルロン酸含有培養液	3,000円	過去の胚移植において妊娠不成立等の医師が必要と認めた場合に、妊娠率を向上させることを目的に実施します。
先進医療(自費診療)		
「先進医療」とは、高度な医療技術を用いた治療法で、公的保険診療の対象に出来るかどうかを評価している最中の先進 的な医療技術として認められたものです。保険診療との併用が認められている自費診療です。 ※先進医療については、2022年6月時点のものです。不妊治療に関する「先進医療」は随時追加されることもあります。		
子宮内膜刺激術(SEET法)	33,000円	胚培養液を胚移植の数日前に子宮内に注入し、着床に適した環境を作り出す技術です。
子宮内膜擦過術(スクラッチ)	22,000円	良好胚を移植しても妊娠に至らず着床障害が疑われる場合に、胚移植前にスクラッチ(局所内膜を擦過する)を行い、 着床しやすくする技術です。
ヒアルロン酸を用いた生理学的精子選択術	34,000円	ヒアルロン酸を含有する培地を用いて成熟精子の選択を行う技術です。
子宮内膜受容能検査(ERA)	132,000円	子宮内膜組織を採取し、遺伝子発現を解析して内膜組織が着床に適した状態であるのかを評価する検査です。
子宮内細菌叢検査(EMMA/ALICE)	66,000円	子宮内細菌叢が、正常であるのか、異常であるのか、またその菌の種類や組成を判断する検査です。